

# さんよう広場

三木山陽病院 広報委員会

第13号

平成22年1月

## あけましておめでとうございます。

本年7月三木山陽病院の隣に、

介護老人保健施設”サンスマイル三木“を開設することになりました。

高齢化、超高齢化社会を迎えて、社会保障、社会福祉を含めたこれからの日本の医療、介護が非常に重要であることは万人の認めるところです。それゆえ日本の医療福祉政策に強い関心を持つところではありますが、政治や財政の関与するものであり私たちはそれを論じる立場にはありません。

こんな時こそ改めて原点、初心に帰り、目の前にいる患者さんに集中すべきです。私たちのところへやって来た人はみんな診る、しかも可能な限り高い医療レベルをもって。一時は高い専門性ばかりを求めた細分化医療もここに来て総合的視野に立った医療が再評価されています。“病気を診るのではなくその人を診る”これまで私たちが目指してきたものであり最も得意とするところであります。

しかしながら中で私たちの病院も含めて多くの病院はいくつかの問題を抱えています。残念ながら医療費の未払い、虚しいクレームは減少しているとはいえない。それ以上に容易でない問題として、私たちへの信頼の裏返しかもしれませんが急性期治療の終了後も在宅やもとの施設へ帰ることの不安や、退院を望まない長期入院をあげることが出来ます。病気に対しての確立された治療の終了は本人、家族にとって必ずしもすべての回復を意味しないのです。特に高齢者においては全身の機能低下が残ります。一方で介護施設が、医療上の問題点を有する高齢者を預かることに躊躇することも容易に想像できます。このことは医療と介護を単に言葉の定義で分けようとしたり、それぞれの立場だけを強調することでは解決できないのです。医療と介護は双方がともに影響しあうものであり、多くの高齢者はその両方を必要としているのです。

今回、病院と介護施設を隣り合わせにすることで私たちなりに問題点の整理を行いたいと思っています。不安定な心肺疾患、PEGを含めた経管栄養の管理、透析やがんの終末期、とは言ひながら病院での入院対応を必ずしも必要としない高齢者、一方で多くの施設にとって預かることを負担に感じる方々。肝心の当人はどこでどんな生活をすることを望んでいるのでしょうか？恩着せがましい病院での窮屈な療養生活ではなく、勝手な想像に発したケアマネジメントでもない、遠慮のない本人の意思決定と精神的負荷のない家族の素直な愛情を導き出さなければならないと思っています。それに応えることができる病院であり、施設でありたいと思っています。

病院長 森田 須美春

# こんにちは、総合支援相談室です。

総合支援相談室は、患者さまが病気や障がいのためにお困りのことがあれば、安心して生活していただけるよう、皆様とご一緒に考え、解決していくところです。

当院では、現在急性期が3病棟、医療療養棟が1病棟に変わり、急性期病院に大きく変わりました。

これにより、内視鏡、CT、MRI等の検査や透析治療、地域の開業医の先生や近隣施設からの紹介や急性期入院も増え、より一層開かれた、皆様に近い病院になりました。



玄関入って正面すぐ右。  
受付の前にあります。

患者さま、ご家族さまに寄り添いつつ、問題を一つずつ解決していくために、院内はもちろん、地域の病院、介護福祉施設、各事業所さまとのパイプ役となって、皆さまのお役に立てるようご一緒に取り組んでいきます。

**“つなぐ、ささえる、まもる”**が、  
わたしたちのモットーです。

北原 真岐です。  
子供を4人も産んで7人家族の嫁です。  
皆様のお幸せを願って頑張ります。



木村 由子です。元祖歴女です。  
日本百名城スタンプラリー挑戦中。手に持っているのは彦根城のマスコットひこにゃんです。

例えば、こんなご相談をお受けしています・・・。

- ・介護保険ってどんな制度？ 利用の仕方は？
- ・地域の介護、福祉サービスってどんなものがあるの？
- ・今までと同じような生活ができるかどうか不安・
- ・障がいを持ったら、何か使えるサービスは？



など。

お気軽にお越し下さい。

★介護老人保健施設 サンスマイル三木についてのお問い合わせも  
どうぞお越し下さい。

# CTについて

放射線科 技師長 東城 肇



病院の中には、たくさんの検査機器があります。今回は、CTについて簡単にお話をさせて頂きます。大きく一見怖そうな検査に思われる方もおられるでしょうが、横になって頂いている間に検査は終わります。（息を止めて頂く場合も多々あります・・・また造影剤と呼ばれるお薬を使う場合もあります）



図1

ちょっと難しいですが、CTのしくみは・・・

CTはX線を使って検査を行う装置で、患者様の身体の周りを回転しながらデータを集めることで、身体の断面の画像を得ています（図1）。

断面の画像を得ることで、X線写真では重なって見えないような病変も見えるようになります。

少し前までは1回転する間に1枚しか撮影できなかったのですが、技術の進歩により、当院に導入されている装置では、1回転で16枚の画像を得ることが出来るようになり飛躍的なスピードアップ（1回転0.5秒）とより詳細な画像（画像の厚みは1mm）を得ることが出来るようになりました。

今では、撮影する範囲を決める位置を決める時用（5～10秒）と本スキャン（10～20秒）の2回程息止めを行って頂くと撮影は終了します。詳細なデータを取得しているので観察に従来から用いている横断面（図2）とは別に、再撮影をすることなく撮影後にデータを使って冠状面（縦切り・図3）や任意の断面や指定した曲線に沿った断面の画像などを再構成することができます。X線の被曝というデメリットもありますが、現在の装置ではX線の量もきめ細かく管理し出来るだけ少ない被曝線量で撮影できるようになっています。

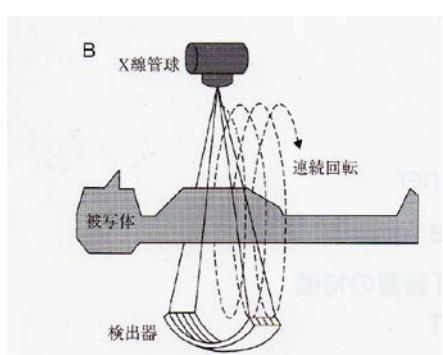


図2



図3（左）



図4（右）

## 検査を希望される方へ

当院では、緊急時や必要時には即日CT検査を行っております。また、腹部の検査や造影剤を使用して検査を行う場合、検査前の食事を抜いていただくことがあります。  
(午前中の検査の場合は朝食を、午後からの検査の場合は昼食を)

## クリスマスコンサート

今年も12月19日(土)、1階ロビーにてクリスマスコンサートを開催致しました。

今回コンサート初デビューの三木山陽病院院内保育園児の「おもちゃのチャチャチャ」、愛らしい演技に自然と笑顔がこぼれていました。

B.B.SWEET TORYさんの優しいベルの音やT-CHI-Mさんの軽快なリズムに観客の皆様や私たち職員も楽しい時間を過ごさせていただきました。



## 2010年7月オープン！！ 介護老人保健施設 サンスマイル三木

「陽光（ひかり）と緑あふれる空間で、  
ともに“いつも”の生活を」

三木山陽病院に隣接！！



入所・デイサービスのご利用等のお問い合わせは

**0794-85-3061 (内線 1191)**

総合支援相談室まで！！

## クリスマス会

3階病棟では、12月24日に恒例の「クリスマス会」を行いました。病棟内にXmasの飾りをし、職員によるハンドベルでXmasソングを奏みました。

短い時間でしたが、  
楽しいひとときを過ごす  
ことができた一日でした。



## 1日消防署長になりました！！



真剣な雰囲気の中、身の引き締まる思い  
でした。制服似合ってるでしょ！？

リハビリテーション科 主任 渡木 利幸  
3階病棟 看護師主任 森下 和代

## アクセス MAP



医療法人社団 朋優会  
**三木山陽病院**



〒673-0501  
三木市志染町吉田 1213-1  
TEL 0794-85-3061  
FAX 0794-85-3582  
<http://www.mikisanyo-hp.com>  
E-mail:info@mikisanyo-hp.com